



4年にわたる 横田中学校 「耐震大規模改修工事」が完工

校舎と体育館の老朽化による改修と新しい耐震基準を満たすため、平成18年度から4期、4年間にわたって進められていた、横田中学校耐震大規模改修工事が、10月に終了しました。

改修への取り組み

同校は、四地区の統合中学校として、昭和四十六年から四十八年にかけて、横田盆地を望む、現在の高台に建設されました。

以来三十五年余りが経過する中、校舎の老朽化が進み、授業に支障がでるとともに、昭和五十六年には、建築基準法の構造規定が変わり、同校は危険建物となりました。

これまで、旧横田町で様々な財政措置が検討されましたが、平成十七年三月に横田・仁多町が合併。

岩田町政のもと、合併後の最重要事業として直ちに整備計画が進められ、平成十七年度から国への積極的な要望活動を行ない、繰越事業として平成十八年度から有利な国の補助金、合併特例債を活用した、総事業費七億二千万円で整備が進められました。

事業概要

【耐震性の概要】

耐震性を評価する指標I S値は、基準値を超え、安全性の高い構造となりました。

特別教室棟	0.4993
普通教室棟	0.2276
管理教室棟	0.2871
体育館	0.1076

()内は改修前の数値

【主な改修概要】

- ・教室、廊下の床や壁の張替
- ・特別教室
- ・(図書室・理科室・家庭科室等)の改修
- ・ランチルームの新設
- ・体育館の外壁・屋根・床の張替など
- ・蓄熱式暖房の設置

I S値0.7以上であれば阪神・淡路大震災クラスでも耐える構造

生徒たちの声

教室はもちろん、トイレや廊下もビカビカで気持ちがいい。



式典であいさつする早戸和希生徒会長

広々としたランチルームでの全校給食はにぎやかで、とても楽しい。
新しく付いた蓄熱式暖房は、温かく、とても快適。校舎、新しくきれいになっただけでなく、耐震工事のおかげで、とても安心して使える。
体育館の床は張り替えられ、気持ちよく体育の授業が受けられます。

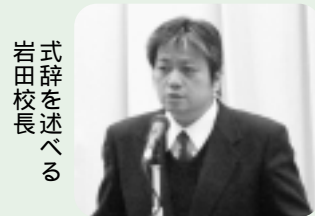
完成記念式典

十二月三日、完成を祝う改修記念式典が、同中学校体育館で開催され、全校生徒二百十六人や教職員、また町長をはじめ、井上勝博町長、議員や教育関係者など約三百人が出席しました。



記念演奏会の様子

式典で岩田靖校長が「新しい校舎を大切に使い、地域とともに成長する学校を目指し、生徒、教職員が今日を励み、明日を拓いていくことを誓います」と式辞が述べられました。



式辞を述べる岩田校長

また、来賓を代表して井上町長から、工事の期間中、不便な思いをした生徒や備品の移動や搬入を行なった関係者に感謝するとともに、校舎の完成を祝うあいさつが

ありました。生徒を代表して、早戸和希生徒会長(三年)が「新校舎に恥じない、立派で、しっかりとした横中生として、目標に進んでいきたい」とあいさつしました。
式典の後には、吹奏楽部と地元吹奏楽団合同による記念演奏会が行なわれ、八日には「上田観正会能楽堂」による能楽の記念公演が行われました。
現在、生徒たちは、安全で快適な学校生活を送っています。

(改修後)

清潔感あふれる教室

(改修前)

← 校舎

(改修後)

床や壁が張り替えられた体育館

(改修前)

← 体育館

(改修後)

新設されたランチルーム

(改修前)

← 渡り廊下